

## 「ふじのくに地域・大学フォーラム」発表内容の概要

### 「今の会社に勤め続けたいと思っている若手社員の特徴とは？」

入社2，3年目の若手社員を対象にしたアンケート調査によって、以下の事柄を明らかにしました。

#### 1. 入社前に会社の現実（リアル）を理解していると「今の会社に勤め続けたい」と考える割合が高い

現在の勤め先が、就職活動中、学生に対して社内の現実をどの程度開示していたかを尋ねました。会社が、良い面も悪い面もありのまま開示していた場合に「開示されていた」を選びます。

その結果、「社内の現実が開示されていた」と答えた者は「今後も現在の会社で働きたい」と考える割合が高いことが分かりました。特に「会社でのキャリア開発」を事前理解して入社した者が、今後も現在の会社で働きたいと答えています。上記に加えて、企業へのインタビュー調査でも、入社希望者に会社の現実を伝えている好事例を調べました。

#### 2. 現勤務先のインターンシップに参加したうえで入社した者は「今の会社に勤め続けたい」と考える割合が高い

インターンシップに参加したうえで入社した者は、今勤めている会社で働きたいと思えるという結果が得られました。特に、インターンシップ経由の入社は「仕事内容」、「職場の人間関係」、「能力・専門を活かせる機会」において、従業員と会社の良好なマッチングが実現しています。インターンシップに参加するにしても、入った会社と同業種の別会社や、別業種の会社だと、マッチングの効果が認められませんでした。

#### 3. 学生時代から明確な目標があった者は「今の会社に勤め続けたい」と考える割合が高い

学生時代に将来に向けて明確な目標があると、今勤めている会社で働きたいと思えるという結果が得られました。

以上